

5. 火災時の措置

消火剤：この物質は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を使用する。
特有の危険有害性：加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消化方法：危険でなければ火災区域から容器を移動する
移動不可能な場合、容器を破損しないように注水し、冷却する。
消化を行う者の保護：消火作業の際、保護眼鏡、保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：大量に漏出した場合、直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。
保護具及び緊急時措置：作業者は保護眼鏡、保護衣を着用し、眼に入らないことを避ける。
漏洩物に触れたり、滑りやすいのでその中を歩いたりしない。
環境に対する注意事項：河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
回収、中和：漏えい物を掃き集めて空容器に回収して破棄処理する。
汚染区域を5%以下に薄めた酸（希塩酸、希硫酸、等）で中和して固形物を除き大量の水で洗い流す。
封じ込め及び浄化の方法・機材：危険でなければ漏れを止める。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：『8.ばく露防止及び保護措置』の設備対策を実施し、
保護具を着用する
安全取扱い注意事項：眼に入れない。接触、吸入（ミスト）、又は飲み込まない。
接触回避：『10.安定性及び反応性』を参照。

保管

技術的対策：『10.安定性及び反応性』を参照。
混触危険物質：『10.安定性及び反応性』を参照。
容器梱包材料：0（℃）以下では固化する可能性がある。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

管理濃度：データなし。
許容濃度：記載なし。（ACGIH（2008年）、日本産業衛生学会（2011年））
設備対策：貯蔵又は取扱う作業場には汚染箇所を洗浄できる水洗設備
（洗い場、又は洗顔器、安全シャワー）を確保する。

保護具：

呼吸器の保護具：必要な場合、適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具：適切な保護眼鏡を着用する。
眼の保護具：適切な保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具：保護衣を着用する。
衛生対策：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。
取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色など：無色ないしわずかに着色した粘稠性液体である。
臭い：データなし
融点・凝固点：凝固点 0（℃）以下。
沸点、初留点及び沸騰範囲：沸点 101（℃）以上。
溶解度：水溶性液体、有機溶媒に不溶。
引火点、爆発範囲、自然発火温度、分解温度：不燃性液体。

10. 安定性及び反応性

安定性：通常の取り扱い条件においては、安定である。

危険有害反応可能性：データなし

避けるべき条件：酸と反応してゲルを生成したり発熱する。アンモニウム塩と反応してアンモニアガスを発生する。亜鉛とアルミ泊と反応して引火性/爆発性気体（水素）が発生する。重金属、アルカリ土類金属の各塩と作用して金属けい酸塩の水和物沈殿を生じる

混触危険物質：データなし。

危険有害な分解生成物：水素ガス

11. 有害性情報

急性毒性（LD₅₀）：経口 区分4である。（300<区分4≤2000）
ラット 1600 (mg/kg) (Na₂O・3SiO₂の場合)
1280 (mg/kg) (Na₂O・SiO₂の場合)
マウス 2400 (mg/kg) (Na₂O・SiO₂の場合)

皮膚腐食性・刺激性：in Vitro 膜バリア試験結果。（Harlan Laboratories Ltd2012/2）

試験体	比重	モル比	破瓜時間	包装等級	皮膚腐食性
1号	1.58	2.13	00:43:41	II	1B
2号	1.60	2.31	00:42:47	II	1B
3号	1.41	3.20	01:07:16	II	1C

眼に対する重篤な損傷・刺激性：皮膚腐食性結果から区分1である

呼吸器感作性又は皮膚感作性、生殖細胞変異原性、発がん性、生殖毒性、特定標的臓器・全身毒性（単回・反復ばく露）、吸引力呼吸器有害性：

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性：区分外である（>100 (mg/L)）

種別	水中生物種	TLm (mg/L)	時間(hr)
魚類	カダヤシ Ganbusia affinis	2400	48
甲殻類	ウミノミ Amphipoda	895	24
甲殻類	オオミジンコ Daphnia magna	247	96

水生環境慢性有害性：アルカリ性のため、毒性の要因と考えられるが、環境水中では緩衝作用により毒性影響が緩和されるため、「区分外」とした。

残留性・分解性、生体蓄積性、土壌中の移動性、環境基準：データなし。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従う。必要に応じて中和処理する、下水道には廃棄しない。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が処理している場合には委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上、処理を委託する。

中和法（少量の場合）：汚染区域を5（%）以下に薄めた酸（希塩酸、希硫酸、等）で中和して固形物を除き、大量の水で洗い流す。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報：IMO（国際海事機関）の規定に従う。

航空規制情報：ICAO（国際民間航空機関）/IATA（国際航空運送協会）の規定に従う。

UN NO. : 3266

Proper Shipping Name : Corrosive liquid, basic, inorganic, n.o.s.

Class : 8

Packing Group : II

Marine Pollutant : P, Category Y

国内規制

陸上規制情報：該当しない。

海上、航空規制情報：船舶安全法、航空法の規定に従う。

国連番号：3266

品名：その他の腐食性物質

クラス：8

容器等級：II

海洋汚染物質：P, 有害液体物質（Y類物質）

緊急時応急措置指針番号：154

1 5. 適用法令

P R T R 法：該当なし

労働安全衛生規則第326条：腐食性液体

海洋汚染防止法 ばら積み輸送：有害液体物質（Y類物質）

個品輸送：海洋汚染物質（P）

化審法（化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律）：既存化学物質（1-508）

水質汚濁防止法：水素イオン濃度の項目

産業廃棄物処理法：（1号）pH12.5以上の廃アルカリ

船舶安全法（危規則第3条危険物告示別表第1）：腐食性物質

航空法（施行規則第194条危険物告示別表第1）：腐食性物質

1 6. その他（文献等）

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。

記載内容の内、含有量、物理化学的性質、等の値は、保証値ではありません。

注意事項等は、通常的な取扱いを対象としたもので、特殊な取扱の場合はご配慮願います。

1 7. 記載内容の問い合わせ先：

エヌパット株式会社 樹脂アンカー技術部・営業部

TEL/FAX : 06-6576-5101/06-6576-5103

-
- * 記載内容は、現時点で入手できる情報等に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。含有量、物理化学的性質は保証値ではありません。
また、注意事項は通常的な取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施してください。